

■実施目的・概要

JR奈良駅と近鉄奈良駅を結ぶメインストリートである三条通ショッピングモールにて、人々の「目的地」となる商店街への転換、空間・時間・人などの新しい価値の提供、地域コミュニティとしての地元住民生活の質的向上を目指すため、空き店舗活用モデルプランを提案し、その企画立案・実施に至るプロセスを広く他の商店街に波及させることを目的とする。

01 商店街実態調査

a. 通行量調査データ分析

商店街の特性把握のため、奈良商工会議所が実施した通行量調査結果から通行量特性を分析。

b. 現地調査

空き店舗活用プランの実施店舗の選定及び実施内容の検討のため、空き店舗数及び業種別店舗数を調査。

c. ヒアリング調査

商店街が抱えている課題、新規出店・閉店店舗状況、実証実験開催後の課題・評価を把握するため、ヒアリング調査を実施。

まとめ

上記の結果より、商店街内のポテンシャルの高い空き店舗を選定。また、実証実験の実施内容は、商店街が望む個性に溢れ、地元住民に向けた活用方法に方針を決定。

02 ワークショップ

実態調査結果を基に、2グループに分かれ、空き店舗で「何をするか？」ではなく、「なぜすべきか？」を重点に置き、空間・時間・人など、新しい価値を商店街としてどう提供するかについて、議論。

■まとめ

オープンテラスの設置や交流の場の創出など「人と人、まちと人を繋ぐ空間づくり」を目指した実証実験により、これまでの商店街にはない空間・時間などの新しい価値を提供することができた。これは、商店街が抱える課題の抽出、目指すべき理想像の設定、そして商店街の特性を十分に把握した上で、空き店舗活用プランを企画立案・実施したことで実現できたと考えられ、その企画立案・実施に至るプロセスの重要性を再認識した。

我々が今回培った企画立案・実施に至るプロセスを他の商店街にも共有し、まち全体のさらなる活性化に貢献したい。

03 実証実験

「人と人、まちと人を繋ぐ空間づくり」を目指し、空き店舗活用プランを企画・立案及び実証実験を実施。

(1) ひと×まちテラス

朝夕の通行量が多い当該商店街の特徴を踏まえ、「いってらっしゃい」から「おかえりなさい」と声を掛け合える繋がりを生み出す空間づくりを目指した。

交流のための仕掛け：

- ・スタッフからお客さんへの手書きメッセージカードの配布
- ・小冊子と感想を共有するための図書カードの設置
- ・商店街に関係するテーマに対して自由に描ける黒板の設置
- ・歩道空間への屋台やオープンテラスの設置

(2) CAFÉすみか

人との交流による自分の価値の再発見を目的として、初対面の人でも自然と会話ができる空間づくりを目指した。

交流のための仕掛け：

- ・店内・屋外へのこたつの設置
- ・テーマを設けたメッセージボードの設置
- ・歩道空間でお餅を焼く体験を提供
- ・歩道空間で人が集まり暖を取ることでできるガスコンロを設置

※上記実証実験の実施にあたっては、「道路占用」の許可・奈良市保健所への「催物等実施報告書」の提出、消防局への「消防隊の通行その他消火活動に支障を及ぼすおそれのある露店の開設届出書」の提出等、各種手続きの上実施。

